研修名　保育内容研修２（リズムダンス）
平成２８年６月１６日（木）１０：００～１２：００
演　習　「カラダを使った表現力と創造力を～楽しんで踊ろう～」
講　師　パパイヤ式キッズダンスアカデミー
小林　由美 氏　脇本　歩 氏

１　講演要旨

２０１２年度から中学校でダンスが必修化され，小学校でも必修化に向けての議論が始まっています。ダンスをお手本通りに踊るというだけでは，ダンスを嫌いな子どもを増やしかねません。楽しくカラダで自己表現できるように，覚えることは極力少なく，でも覚えてしまえばどんどん面白くなっていく…そんなカリキュラムを作りました。「カズフミくん」という４つの数字が書かれたシートを踏むだけで，基本的なステップを身につけることができる。幼児教育においてダンスを取り入れる意味は，体操よりもケガをするリスクは低く，体操同様に体幹や基礎体力がつけられるのがひとつ。パパイヤ式の特徴は，想像力の発達やカラダを通じた自己表現ができるようになること。自由に考えさせてカラダを動かすことで「恥ずかしがり」や「引っ込み思案」から脱却できる。自分の意志や考えを伝えたい気持ちが育まれ，まさにカラダがココロを動かすというように元気ハツラツとした子どもに変わっていきます。

２　感 想

数字と色の単純なマットなので，簡単にダンスの基本を身に着けることができ，さらにそれをヒップホップ系の動きへと変えていくことで，「格好良く踊ってみたい！」という気持ちになりました。子どもも大人も楽しむことができ，さらにカズフミ振付に動物が入っていることで，子どもたちにも親しみやすく，リトミックなどに取り入れられると感じました。動きは激しかったですが，とても楽しむことが出来ました。

研修名　保育内容研修３（運動遊び）
平成２８年６月１６日（木）１３：３０～１６：００
演　習　「関係性を育む運動あそび」
講　師　はっとこども園　片山　喜章 氏

１　講演要旨

≪クラスでルールのあるゲームをするにあたってのポイント≫

① すべての子どもが主役意識(応援している子がいない)を持てるようにする。
② あれこれを考えて，迷い戸惑い，葛藤を経験できるようなルール。
③ 単純で繰り返すたびにコツを知り，関係性が深まるルール。
　　↳ルール説明は言葉ではなく，実際にやって見せる。
④ 運動会の下ごしらえになる活動モデル。

【イスとりゲーム】

従来の排除型ではなく，ふれあい型。

イスを排除し，座れなかった子がすでに座っている子の膝の上に座る。そうすることで安心感を与え，友だちとふれ合い，仲を深めることができる。

【エンドレスリレー】

本番までのリレー練習に。２分間で５～６回走ることができ，意欲もコツもアップする。

・イスをトラックの形に並べる。
・３人一組になりイスに座る。
・イス（トラック）の周りを走り，次の子にタッチする。
・各イスでスタート・ゴールラインが違う。
・順番がすぐに回ってくるので，経験がたくさんできる。
・本番までの練習は経験をたくさん積ませることが大事。

２　感 想

子どもの気持ちになって体験し，最初から最後までみんなが楽しく参加して，いろいろな経験ができ，今後の保育に生かせる内容を学ぶことが出来ました。

特に幼児のクラスでは，ルールのあるゲームが楽しめる年齢なので，教わったことを伝えていきたいです。

研修ありがとうございました。

（ 記録　槇島ひいらぎ保育園　熊木　細見 ）